



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

## 東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、  
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第20号

2024年12月16日

編集 緒方 なな  
東浦町教育委員会  
SPコーディネーター

### 「わくわく算数教室」事前説明会 ～“筆算”ってなんだろう？～

12月7日（土）、片葩小学校で「わくわく算数教室」の事前説明会がありました。参加するSPさんにとって、安心して活動に取り組めるように、そして、より学び多き活動になるようにと毎回開催しています。私たち運営側としては、休みたいであろう休日に、こうして足を運んでくれる学生さんがいることを大変有難く思っています。質の高い学習会（算数教室）が例年開催できているのは、こうした意欲溢れるSPさんがいてくれるおかげです。参加してくれたSPさん、ありがとうございました。

さて、事前説明会では、片葩小の貝沼校長先生がいくつか教具を使いながら算数についてお話をしてくださいました。今回わくわく算数教室に参加するSPさん、そして町内で活動するSPさんに共有できたらと思いますので、ぜひご一読ください。



#### <貝沼校長先生のお話～抜粋～>

- 片葩小では今、「子どもの考えを決めつけずに、子どもに寄り添っていこう」という研究に取り組んでいる。今日はそれに関連付けて話をします。
- 「筆算ってなんだろう？」と、考えたことはある？小学校や中学校では、「はい、筆算やって～」と言われると思うが、そもそも筆算ってなんだろうか。
- そろばんでやる計算は何と言う？“珠の計算”と書いて、“珠算”と言う。
- 2桁×2桁の計算は、3年生で習う単元。今日持ってきたこのプリントには、「筆算をしましょう」とは書いていない。さすがだなあと思った。プリントには、「次の計算をしましょう」と書いてある。じゃあ、これが筆算なのだろうか、と疑いながら考えていく。



● 図1のように子どもが書いてきたら、みなさんは○をつける？ 【図1】

(この問いかけに、SPさんたちの中でも意見が分かれていました。)

● では、図2のように分けて図を描いてみると……？この図と筆算の関係は、なんとなく分かる？きっと私だったら、図1のような筆算を書いてきたら花丸をつける。もしテストで採点する時に悩むのだったら、同じ学年の先生と事前に相談をして花丸をつけていこうかと話しておく。

● 次に、図3は筆算？迷うね。では、図4のように計算の足跡を残したら筆算？こんなこと、きっと小学校でも中学校でもやらない。こんな風に子どもが計算の足跡を残したら、私は花丸をつけたい。

● 私はずっとそろばんをやってきたので、子どもたちが今やっている方法でかけ算をすると意外と間違えてしまう。そろばんでかけ算をやると、図4の順番で計算する。足し算も同じく、十の位から計算する。そろばんが得意な子どもにとっては、**学校で教え込まれる筆算の順番は苦痛な子もいる。**

● 自分だったら、こんな問題(34×12)が出てきたら、「これ、どんな順番でやるんだろうね。」とまずは問いかける。それを実際に問いかけてみると、きっと子どもは「決まってるじゃん」といって、教え込まれた方法で順番にやると思うが、「じゃあ、これ(図1)は違うの？」と、そんな問いかけもしたりする。すると子どもは「うーん……これもいいかなあ。」なんて言いだす。

● 筆算というのはもともと、手で計算の過程を紙に残していく方法を言う。教科書には、『この順番で書きなさい』と決まっていることが載っているので、これが筆算だと思いこませている。それが延々と続いている。**だから、それを一回疑ってみる。子どもはどんな発想をしたらいいのか考えてみる。**

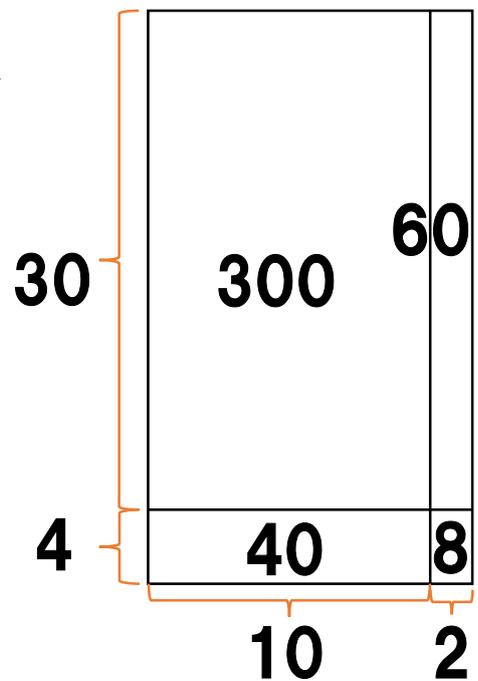
● 先ほどの例で言うと、そろばんをやっている子にとっては教科書の計算順序でない方法で計算している子も何人かいるので、「どんな順番でやっていくのがいいかな」ということを問いかけてみる。そうすると、**より子どもに合った支援ができるんじゃないか**と思う。

● 図3のように矢印が書いていなかったら、私は暗算だと思う。筆算、珠算、暗算、電卓の計算、いろいろな計算方法がある。教科書に載っている方法だけで計算すればいいのだったら、私は電卓でやればいいと思う。

● わく算では、ぜひ子どもの反応一つ一つを楽しみながら参加してほしい。

$$\begin{array}{r} 34 \\ \times 12 \\ \hline 300 \\ 60 \\ 40 \\ 8 \\ \hline 408 \end{array}$$

【図2】



【図3】

$$34 \times 12 = 408$$

【図4】

$$34 \times 12 = 408$$